ひまわり通信 27ねん5がつ

園長先生のお話

新学期も2カ月が過ぎ、すっかり温かい日々から暑く感じられる五月の季節を迎え、子どもたちもそろそろ園生活にも慣れ、園全体もすっかり落ち着いた雰囲気となってきました。園全体にある一定のリズムと静かな雰囲気が流れることは、とても大切なことです。モンテッソーリ教育指導法において、この点は強調されているところです。子どもたちの心が安心して自由な気持ちでいられる園生活、私たちの共通の母である聖母マリア様のご加護とお導きがありますように。神に感謝。

学校法人カトリック学園
ひまわり園長　頭島　光

お部屋の環境

「先生、一緒にお仕事しよう！」と毎日言ってくる4歳の〇〇ちゃん。「今日、何する？」「うーん、これ」必ず最初に、三項式を持ってきます。「このお仕事、〇〇ちゃん出来るんだよ。」そして、楽しそうにお仕事を始めます。「赤い所と赤い所、青い所と青い所、ぴったし！」「黒い所と黒い所、ほーら、ぴったし！」“面と面”がきちんと合う事の喜び、このお仕事を通して感覚や概念を獲得し、整理、分類、秩序化させているんだなと思います。

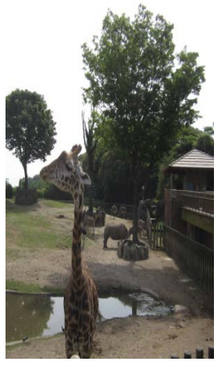
お部屋は、日常・感覚・言語・数・文化といったコーナーが設けられており、いつも同じものが同じ場所に置かれてあります。その中から子どもたちは、自分の興味のあること、1番やりたいお仕事を選んで活動を始めます。

環境づくりで先生方が大切にしている事は、「同じものが同じ場所にあるという秩序感」です。子どもは、安定した環境と、精神によって自分という存在の位置を確認し、迷わないで動くことが出来ます。仮に、このような環境が与えられない(無秩序の)状態だと精神的に不安になり、時には癇癪を起すこともあります。癇癪を起こされたら私たち大人は訳が分からず、子どもの行動を理解出来ない時もありますが、「どうしてだろう？」と子どもの心に寄り添いその行動の意味を考えることが出来れば、子どもが何で困っているかが解ってきます。子どもたちの1日は喜びと希望で満ちています。今日も「出来た！ やった！」という体験がひとつでも出来るように環境を整えて子どもたちと過ごしています。

主任　福留

動物園に行きました！

5月8日、延期になっていた春の遠足が行われました。雨で延期になって以来、首を長くしてこの日を待っていた子どもたち。前日のお帰り準備の時から、「今日帰ったら、おかしを買いに行くんだ。」「ぞうをみたいなぁ。」「一緒にモルモット触ろうね。」と子どもたちは口々に話していました。



当日は、お天気にも恵まれ、大好きなお父さんやお母さんと動物園に来る子どもたちの顔は、喜びいっぱいでした。暑い中でのおゆうぎやゲームでしたが、子どもたちは汗びっしょりになりながら、とても楽しんでいる様子でした。お弁当の時間には、普段恥ずかしがり屋さんの女の子が職員の所まで来て「先生、どうぞ。」とおかしを配ってくれました。いつもと違う環境が大きな力をくれたのでしょう。とても嬉しい出来事でした。後日、遠足で見た動物の感想を、お帰り保育の時間に子どもたちに尋ねました。「うさぎの耳が長くてかわいかったです。」「虎が白くてかっこよかったです。」「コアラが木に抱っこしてるのがかわいかったです。」一人ひとりの子どもの感想からたくさんの喜びがあふれていて、豊かな時間を過ごせた事を感じました。子どもたちにとって、かけがえのない、良い思い出の1日になったことと思います。暑い1日でしたが、おゆうぎやゲームへのご参加、ご協力、本当にありがとうございました。

まりあ組　今村

クラスを紹介します

＊Aのお部屋＊

待ちに待ったAの部屋！これまで封鎖されていた部屋だけに、子どもたちは意気込んで入ってきます。「うーん…いっぱいあってまよっちゃう！！」足下から品定めの開始です。その表情は、目を輝かせて活き活きとしています。

個別活動終了後、10時30分になるとお集まりが始まります。今日は「じしゃくの性質に興味をもって遊ぶ」というテーマです。「お部屋の中から、じしゃくにくっつくと思うものを探してきましょう」子どもたちに投げかけると、部屋全体を大きく見回す。棚に置かれてある物をよく見る。手に取ってみる。友だちの動きを見ながら・・・各々に探す様子が見られます。なかには、最後まで自分で決めることの出来ない子どももいました。その後、じしゃくを1個ずつもらって自分で確かめます。じしゃくでいろいろな遊びをした後に「砂鉄」の紹介です。砂の中には、鉄でできた粒があるということを見た子どもたち、今度は実際外に行って砂鉄を集めました。集めた砂鉄をじしゃくで動かして「先生、黒いのが立った！！」驚きの声が次々に聞こえてきました。

本能的に自分の成長に必要なことに関わって、それを吸収しようとする姿勢が強く出る幼児期に、おもしろいこと！楽しいこと！不思議だなと感じられるようなプログラムを準備していきたいと思っています。そして、活動を通して、主体的、意欲的に変わっていく子どもの姿を見ていきたいです。

Aの部屋　藤田

＊ミカエル組＊

満2歳から幼稚園入園までの子どもたち13名が在籍しています。入園した時、困る事がないように、基本的な生活習慣が身に付くよう、ひとり一人の様子をよく見て関わっています。保護者の方と離れる時、泣いてしまう子もいましたが、安心して園で過ごせるようになるとお集まりにも参加出来るようになり、指遊びやリズム遊びを楽しむ姿が見られます。「今日は、何歌う？」と声かけすると、「パンパンがいい！」(「パン屋さんにお買いもの」の指遊び)「タンタンするー」(手をたたきましょうの歌)と自分なりの言葉で返ってきます。解読不能な時もありますが、ゆったりとした時間の中で笑顔いっぱいに過ごしています。

ミカエル組　堂薗

＊なかよし組＊

なかよし組が、1階に移動しました。子どもたちは私服に着替え、家庭的な雰囲気の中で楽しく過ごしています。「難しいお仕事したい！」と言いながらタングラムをひとりで頑張っているBさん。「ハートの折り紙がひとりで出来るようになった」と喜んでいるAさん。「手裏剣折りを教えて下さい」と毎日繰り返すBさん。また、水筒の水を溢してしまったお友だちに気付くと「青い雑巾を持って来ます」とお世話している姿が見られて縦割り保育の良さを感じています。

外遊びの時間では、お花や、畑の苺、昆虫などを見つけてにぎやかな声が響き渡る中で、雲梯や鉄棒に何回も挑戦して頑張っている子どもの姿も見られています。

なかよし組　上野・久保

★モンテッソーリ教具って何？★ Vol.10　円柱さし

子どもは、いつでも5感をフルに働かせています。右写真の円柱さしは視覚を通して次元の違いを知る感覚教具です。木製の台に10個の穴が空いていて、そこにつまみのある円柱が入っています。穴の直径、深さをみてそれにぴったりはまる円柱を探します。太さや大きさが異なる円柱は観察力や判断力、手のコントロールなどを促してくれます。ひとりでしたり、数人で一緒に3台～4台の円柱さしを使って活動することもあります。

【5感とは】視覚・聴覚・触覚・臭覚・味覚の感覚器官のことです。全ての感覚は胎児期から機能し始めて妊娠7～8週で完成する感覚器官(触覚)もあります。

Aぐみ・Aさん→年長児
Bぐみ・Bさん→年中児
Cぐみ・Cさん→年少児
Dぐみ・Dさん→満3歳児

学校法人カトリック学園　ひまわり幼稚園
〒891-0113　鹿児島市東谷山3丁目31-13　TEL：099-268-2340　FAX：268-2333